

西下仁田温泉 荒船の湯

Nishi Shimonita Onsen Arafune No Yu
(群馬県下仁田町)



外観

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界文化遺産の登録で有名になった荒船風穴。なぜこんな内陸に船という言葉を使った地名ができたのか。それは、群馬県と長野県の県境にある荒船山に関係している。この山を群馬県側から見ると、平らな山頂部とそれを取り巻く壮大な絶壁が荒海を行く船のように見えるからこの名がついたのだという。

今回紹介する温泉は、荒船の湯。国道 254 号線沿いの山の中にある温泉だ。我々取材班は、八千穂高原でスキーを楽しんだ後、この温泉を利用し、下仁田 IC から上信越道に入って帰京した。国道 254 号線は上信越道の裏道のような存在である。

建物中に入るとフロントと売店がある。フロントで下駄箱の鍵を差し出し、カードをもらって入場する。このカードは建物内で飲食をする際に使用するものだ。失くして他人に悪用されないように注意しよう。

脱衣室には籠が置かれている。コインロッカーはない。

浴室に入る。浴室には洗い場が 9 か所。シャンプーとボディーソープは具備されている。内湯は丸い浴槽、大きな浴槽、気泡風呂の 3 つだ。いずれもぬるめの湯温になっており、長時間浸かっていることができる。特に人気なのは気泡風呂。3 人分程度のスペースしかないが、お年寄りが顔をしかめながら楽しんでいる。それほど気泡の出方がすさまじい。

サウナは低温サウナだ。室内温度は 58℃。荒船の湯によれば、低温サウナには 30 分～1 時間入っていることができ、その間にかく汗の量はなんと 500ml～1 リットルであるという。それだけの汗をかけば爽快に違いないが、私はサウナが苦手なので 1 分ほどで出てしまった。定員は 9 人程度だ。空いているときは寝転がっている常連客がいるので、邪魔をしな

いように注意しよう。水風呂はない。

露天風呂は内湯より若干熱めの湯温だが適温である。小屋組みがあり、雪や雨をしのぐことができる。

ちなみに荒船の湯は、含二酸化炭素-ナトリウム-塩化物強塩冷鉱泉（中性高張性冷鉱泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、高血圧、動脈硬化、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病に効くという。

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産の登録によって、今後、荒船の湯を訪れる客はますます増えるのかもしれない。

- **名称**：西下仁田温泉 荒船の湯
- **所在地**：群馬県甘楽郡下仁田町大字南野牧 9326-1
- **電話**：0274-60-6004
- **営業時間**：10：00～20：00（最終受付 19：30）
- **定休日**：月曜日
- **入浴料**：大人 600 円（町民は 400 円）、子供、高齢者、障害者 500 円（町民は 300 円）
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2014 年 12 月 7 日（日）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部